

令和3年度（2021年度）草の根無償支援資金協力プロジェクトに関する
署名式の実施について

2022年1月、渋谷大使は、在チリ日本大使館において、令和3年度（2021年度）採択となる草の根無償資金協力プロジェクト5件について、各団体と署名式を行いました。

渋谷大使は挨拶の中で、日本は一人一人が幸福と尊厳をもって生存する権利を追求するという「人間の安全保障」の考えを推進しており、これに基づき、住民の生活環境の直接的な改善を支援する「草の根無償資金協力プロジェクト」を実施しています、ここチリでは1999年に始まり、2020年度までに約240件、総額約1,600万ドルに上るプロジェクトを実施してきました、今回採択されたプロジェクトによって提供される機材等が、地域住民の方の生活環境の改善に繋がり、今年125周年となる日本とチリとの友好関係がさらに深まると信じています、と述べました。

今回採択されたプロジェクトによって、次の機材等が各団体へ提供される予定です。

(1) ロス・ラゴス市：超音波検査装置一式



中央：アルド・レタマル市長、左右：渋谷大使夫妻

(2) パラル市：超音波検査装置一式



中央：パウラ・レタマル市長、左右：渋谷大使夫妻

(3) サン・ペドロ・デ・アタカマ市：X線検査装置一式



中央：フスト・ズレタ市長、左右：渋谷大使夫妻

(4) サン・フアン・デ・ディアス病院：眼軸長検査装置一式

(※白内障手術の際に用いる眼球精密検査装置)



中央：ミドリ・サワダ医院長、左右：渋谷大使夫妻

(5) タラガンテ消防団：はしご車1台



中央：セバスティアン・ロサス総督、左右：渋谷大使夫妻